

第27回  
サイエンスカフェえひめ

# コケと虫の 進化の話

4億年ほど前、もっとも原始的な植物であるコケが出現したころ、昆虫の祖先となる節足動物も陸上に進出しました。コケと虫は当時からどう関わってきたのでしょうか？現生と太古の昔のコケと虫の関係を調べる「フィールドワーク」と「コケ化石」の研究についてお話しします。

日時

平成30年

9月25日(火)

19:00~20:30

場所

愛媛大学 松山市文京町3番  
愛大ミュージアム (ミュージアムがある建物)  
1F ミュージアム多目的室

対象

自然に関心がある人 30人

参加費

200円

## ◆話題提供 今田 弓女 (いまだ ゆめ) さん

1988年東京都生まれ。昆虫の生態と進化、生物間相互作用を研究しています。

2017年12月に愛媛大学理学部生物学科特定助教に着任。

**【お申し込み】** お名前、電話番号、e-mailアドレス(お持ちの場合)を明記の上、下記連絡先までお申し込みください。(個人情報は適正に管理し、当事業関係のご連絡にのみ使用します。)

NPO 森からつづく道 (松山市鉄砲町1-7)

e-mail: info@morimichi.org

FAX: 089-992-9152

主催: NPO 森からつづく道

後援: 愛媛大学ミュージアム

写真【上】コケに擬態するガガンボ類、シリプトガガンボ科の幼虫(写真提供:大崩貴之氏)

【中】最も原始的なガ類、コバネガ科の成虫

【下】白亜紀前期のシラガゴケ類の近縁種の鉞化石

